

総研大ニューズレター

第 20 号 2010.1 発行

● 目次

【今月のトピック】	「総研大国際シンポジウム開催」	全学事業推進室
	「人間生命科学研究所プロジェクト公開講演会・座談会開催」	葉山高等研究センター
	「核融合科学研究所オープンキャンパス（一般公開）開催」	核融合科学研究所
	「国立民族学博物館 国際シンポジウム開催」	国立民族学博物館
	「Scilab Toolbox Japan Contest 2009 開催」	国立情報学研究所
	「統計数理研究所公開講演会開催」	統計数理研究所

【各種募集】

【イベント情報】

【編集後記】

【今月のトピック】

「平成 21 年度総研大国際シンポジウム開催」

国際シンポジウム「総研大 学術ネットワークの構築」が平成 21 年 12 月 14 日（月）～ 17 日（木）の日程で葉山キャンパスにおいて開催されました。

特別講演、国際活動の現状報告、分科会、自由討論会、ポスターセッション、懇談会そして最終日のパネルディスカッションとさまざまな場面で、在校生 38 名、修了生 36 名を含む参加者 166 名によって議論が行われ、「総研大の学術ネットワーク」形成の方向性が示されました。



小林誠総研大名誉教授はノーベル賞受賞に深く関わりのある「CPの破れとBファクトリー実験」、モンテ・カセム立命館アジア太平洋大学学長は「アジア太平洋時代のための研究コミュニティの創出」という内容で特別講演を行い、各セッションにおいてもグローバルに展開している学術交流の活動状況が紹介されました。

「学術研究ネットワーク構築にむけた国際活動の現状報告」では、アジア冬の学校、サマーリサーチプログラムや海外総研大レクチャーなど他の国々の学生に総研大教育の一端を開放している様子が報告され、さらに最先端の研究を牽引するためには各研究所で行っている国際協力研究が必須であることも示されました。また、研究所と研究所あるいは学術機関との交流について報告もあり、様々な形で国際交流が行われていることが改めて実感されました。その中でも韓国の科学技術連合大学院大学校（University of Science and Technology）（UST）との学生間の交流は、今後の学術交流の形として示唆に富んでいました。現在は、総研大のいくつかの専攻の学生とUSTの学生がお互いの国を訪問し合い、それぞれの研究・教育システムを理解するとともに、そのノウハウ導入の可能性について検討を始めている段階ということでしたが、今後の広がりを期待させる報告でした。



その夜のセッションでは「博士号取得者のキャリアについて」と「ネットワークの構築」の2つのテーマに分かれ、修了生と学生がじっくり話し合う時間を持つことができました。その結果「ネットワークの構築」ではネットワークやコミュニティ形成への提案をまとめ、パネルディスカッションで発表することになりました。

翌16日の午後は4つのセッションが並行して行われました。「社会と脳科学:様々な社会活動に関連する人間の行動と思考を、脳科学から解き明かす」「極限環境が切り拓く新しい自然科学‘南極、高山’‘無重力場’‘極限環境の心理’‘極限場’」「e-learningを活用した遠隔地教育」「アジアの視点による、環境・エネルギー問題」いずれも現代社会にとって重要であり、他国間および分野間の学術交流によって今後の発展が期待されるテーマでした。今後さらに議論を深めたいという意見が出ていました。

同日の夕方からのポスターセッションでは学生・修了生を中心に各自が現在行っている研究を発表しました。予想以上に発表数が多かったため、時間とスペースが足りないという意見もありました。90分のセッションの他夕食後にもディスカッションの時間を取ってありましたが、もう少し余裕が必要だったかもしれません。しかし、写真やプロフィールをポスターの隣に貼ったことが功を奏したのか、初めて会った参加者同士でも議論が盛り上がり、ここにおいても学術交流の芽がいくつか芽生えていました。



最終日はこのシンポジウムのまとめとなるパネルディスカッションが行われました。修了生・学生のパネリストから、研究の発展や仕事のステップアップという視点で情報の共有化や人的ネットワークの大切さやその方法について提案がなされ、フロアからも活発に意見が出されました。

本シンポジウムの実施にあたっては実施委員、総研大スタッフによって多くの時間と労力が費やされましたが、それに余りある多くの成果をもたらしました。総研大ネットワークはさらなる成果に向かって着実に動き出しています。



【文責 全学事業推進室 特任講師 岩瀬峰代】

「人間生命科学研究プロジェクト公開講演会・座談会開催」

葉山高等研究センター 人間生命科学研究プロジェクト「ヒトの個体発生の特異性に関する総合的研究」（研究課題代表者：シニア上級研究員 尾本恵市）では、平成 21 年 11 月 13 日（金）東京都港区の国際文化会館において、公開講演会・座談会を実施しました。

冷たい雨の中、熱心な聴講者が集まり、プロジェクト 5 年間の総決算ともいえる内容に耳を傾けていました。

まず尾本研究員が「ヒトの成長（個体発生）はいかにユニークか？」をテーマに講演をし、そのあと斎藤成也教授（国立遺伝学研究所）、濱田穰教授（京都大学霊長類研究所）の講演、総研大 颯田葉子教授の司会による、活発な討論が繰り広げられました。座談会においては、聴講者の積極的な参加もあり、予定時間ぎりぎりまで、議論が飛び交い、本テーマの今後の発展に寄与すると思われる内容でありました。

生物として見たとき、ヒトの特異性は、その独特の成長パターンに由来しています。比較的無力で生まれてくる新生児、乳離れしたあとも摂食の助けを必要とする子ども期、生殖年齢を過ぎても集団の重要なメンバーであり続ける老齢期の存在は、他の生物にはみられない独特のものであることを再認識するきっかけとなったことなのでしょう。そして、それらの特異性を持つことによって、ヒト（ホモ・サピエンス）が文明をつくる能力を得たことを知ったうえで、このようなパターンはどのように出現したのかなど、さらなる課題を胸に、皆さんすっかり暗くなった会場を後にされました。



【文責 葉山高等研究センター】

「核融合科学研究所オープンキャンパス（一般公開） ～プラズマがつくる未来のエネルギー～ 開催」

核融合科学研究所のオープンキャンパス（一般公開）を11月14日（土）に開催しました。午前中は雨模様であったにもかかわらず約2300名の方々にお越しいただき、秋の一日を楽しんでいただきました。

今年のオープンキャンパスは「プラズマがつくる未来のエネルギー」をテーマに掲げ、ご来場の皆様に未来のエネルギー源の研究に関心を持っていただき、また、子供たちに科学のおもしろさを体験してもらうため、多くの企画を準備しました。大型ヘリカル装置の見学ツアーをはじめとする実験棟の公開や各種展示物での説明の他に、科学実験や科学工作などの約50の企画を見て、聞いて、体験していただきました。例年、好評をいただいているセラミック折り紙、ロボット工作（サッカーロボットを作ろう）、おもしろ科学実験・工作コーナーは、今年も終日行列ができる賑わいでした。大気圧プラズマやぼんぼん船などの新企画も楽しんでいただくことができました。研究所のマスコットのプラズマくんは、“うながっぱ（多治見市）”と“とっくりとっくん（下石陶磁器工業協同組合）”を引き連れて登場して、子供たちに大人気でした。



施設見学



セラミック折り紙工作



着ぐるみとの記念撮影



形状記憶合金の実験体験



プラズマボール体験



真空実験の実演

新たな企画として、小学生向け、中学生向け、一般向けの3つの公開講座を開催しました。小学生向けには「みんなの元気で電気をつくろう」をテーマに体験型の講演を行い、ハプニングつきで楽しんでいただきました。中学生向けには「エネルギーとプラズマ」と題してエネルギー問題について丁寧に説明しました。一般向けには「乱（気）流とプラズマの閉じ込め」と題して最近の研究を紹介しました。難しい題目にもかかわらず、多数のご参加をいただきました。また、今年も、教育連携企画として7校の高校生による科学研究発表会と企画展示が行われ、高校生同士の連携とお互いの研究活動への大きな刺激となりました。

昨年に引き続き、集中降雨を体験できる防災体験コーナーを開設し、たくさんの方にご体験いただきました。土岐川観察館主催の“ザリガメワールドによるこそ”のコーナーでは土岐川に住む生物の紹介とザリガメ釣り体験が行われ、子供たちの人気を集めていました。下石陶磁器工業協同組合からは「とっくりとっくん」の置き物をご提供いただき、各展示場に配置させていただきました。

屋外の催しでは、現役プロテニスプレイヤーの有本尚紀選手をコーチに迎えてのテニス教室、並びに第8回N I F S杯少年サッカー交流大会が行われました。サッカー交流大会は、近隣のプラズマグラウンドも使用して2カ所で開催することにより、16チーム全員にご参加いただけるように準備しました。予選の結果に基づいて4チームずつ4つのトーナメントブロックで勝負を競っていただき、雨でぬかるんだグラウンドにも負けない熱戦の末、刈谷市の富士松 FC が見事優勝の栄誉を勝ち取りました。

この日のために9月初旬からの種まき、水遣り、草取りを行って準備を進めてきたコスモス畑は、丁度満開となっていたのですが、あいにくの雨でぬかるみができてしまったため触れていただくことができませんでした。午後からは花も元気を取り戻し、ご来場の皆様の目を和ませることができたのではないかと考えております。

今年の研究所オープンキャンパス（一般公開）でも、多くの方の協力によりエネルギーをテーマとした楽しい企画をたくさん用意することができました。また、地元からも企画にご参加いただきました。これらの企画にご参加、ご協力いただきました皆様に深くお礼申し上げます。

【文責 核融合科学研究所オープンキャンパス実行委員長 今川信作】

「国立民族学博物館国際シンポジウム開催」

国立民族学博物館は、11月22日と23日の2日間、国際シンポジウム「点字力の可能性—21世紀の新たなルイ・ブライユ像を求めて」を開催しました。

このシンポジウムは、点字の考案者ルイ・ブライユの生誕200年を記念して開催された点字の企画展「…点天展…」に合わせて開催されたもので、両日とも70名を超える参加者がありました。

点字の持つ少ない材料から多くを生み出したたかな創造力、常識にとらわれないしなやかな発想力を“点字力”と名づけ、シンポジウムのキーワードとして用い、1日目は「視覚障害者への情報保障のツールとしての点字の役割」をテーマに、点字の文字としての役割と意義について、視覚障害関係者からの報告が行われました。2日目は「視覚障害者が持ち伝えてきた触覚文化としての点字の多様性」をテーマとして、触覚、あるいは点を利用したサインとして点字を再評価し、点字の持つ可能性について議論されました。

2日間の議論を通じて、「点字=視覚障害者用の特殊な文字」という固定観念に一石を投げ、ルイ・ブライユは単なる点字の考案者ではなく、21世紀の人類に“点字力”の大切さを伝える存在であることを明らかにしました。



【文責 国立民族学博物館】

「Scilab Toolbox Japan Contest 2009 開催」

国立情報学研究所（NII）では、INRIA（フランス国立計算機科学・自動制御研究所）が開発した数値計算プラットフォームの Scilab（サイラブ）の日本での普及、促進のため、Scilab Toolbox Japan Contest を 2006 年より、NII と INRIA が主催となって開催しています。

本年度のコンテストは 11 月 4 日に開催され、学生及び一般より応募のあった 4 名、計 5 件の作品について、プレゼンテーションと審査委員による質疑応答により審査が行われました。審査結果は次のとおりとなり、受賞者には賞状と賞金が贈られました。本コンテストの詳細については、NII のホームページ (http://www.nii.ac.jp/index.php?action=pages_view_main&page_id=209) にて公開されています。

【最優秀賞】

[学生カテゴリ]

作品名：QuPAT (Quadruple Precision Arithmetic Toolbox)

受賞者：齊藤 翼（東京理科大学大学院理学研究科 数理情報科学専攻 修士課程 1 年）

[一般カテゴリ]

作品名：パルス圧縮を用いた極浅層地中映像化用プログラム群

受賞者：杉本 恒美（桐蔭横浜大学工学部教授）

【優秀賞】

[学生カテゴリ]

作品名：g-guide (Graphic with GUI the Drawer of Expression)

受賞者：杉山 貴俊（筑波大学大学院システム情報工学研究科 コンピュータサイエンス専攻 博士前期課程 2 年）



プレゼンテーションの様子



発表された 4 名の皆さん

【文責 国立情報学研究所】

「統計数理研究所公開講演会開催」

「最強人工ゲームプレイヤーで名人に勝つ！！」をテーマに、統計数理に関連する研究成果を紹介する公開講演会が、2009 年 11 月 5 日、立川市女性総合センターホールで立川市後援にて開催されました。

教育・文化週間（11 月 1 日～7 日）の関連行事として毎年企画されているものですが、研究所の立川移転に伴い、今回が当地での最初の開催となりました。

本年度のテーマは比較的親しみやすい内容ということもあり、市民の関心は高く、来場者は 94 人に上りました。参加者は、第一線の科学者の解説に熱心に聞き入っていました。

当日のプログラムは次の通り。

所長挨拶及び統計数理研究所紹介 北川源四郎（統計数理研究所長）

講演 1 「将棋プログラム Bonanza:完全公開！強い将棋プログラムの作り方」保木邦仁（東北大学大学院理学研究科）

講演 2 「詰碁とコンピュータ」岸本 章宏（東京工業大学大学院情報理工学研究科、科学技術振興機構さきがけ）

講演 3 「統計科学で見るじゃんけん/じゃんけんで見える統計科学」石黒真木夫（統計数理研究所モデリング系教授）

【文責 統計数理研究所】

【各種募集】・・・現在公募中の情報を掲載しています。

事 項	応募期間	提出先
国立天文台滞在型研究員	随時(滞在希望初日の前月1日まで)	国立天文台研究支援係
http://www.nao.ac.jp/Jobs/Job000175.html		
国立天文台共同開発研究・研究集会・共同研究	第1回:平成22年1月29日(金) 第2回:平成22年6月30日(水)(研究集会第2回のみ)	国立天文台研究支援係
http://www.nao.ac.jp/Jobs/Job000191.html		

【イベント情報】・・・オープンキャンパス, 入試説明会, 入試など大学行事に関わるもの。

1月

日程	時間	行事名	場所
8日(金) -9日(土)		生命共生体進化学専攻 オープンキャンパス	葉山キャンパス
14日(木) -15日(金)		葉山高等研究センター研究プロジェクト 全体報告会	湘南国際村センター
15日(金) -17日(日)		総研大レクチャー プレゼンテーションセミナー2010	放送大学 ICT活用・遠隔教育 センター総研大講義室
22日(金)	18:00-20:00	サイエンスカフェ	レストランタ風亭
27日(水) -29日(金)		国際セミナー	湘南国際村センター

3月

日程	時間	行事名	場所
23日(火)		学術交流会	湘南国際村センター(予定)
24日(水)		学位記授与式	葉山キャンパス
24日(水)		長倉研究奨励賞・総合研究大学院大学 研究賞 発表会・授与式	葉山キャンパス

<基盤機関の行事>

1月

日程	時間	行事名	場所
8日(金)	18:30-19:30 (受付時間)	定例観望会	会場:国立天文台 三鷹キャンパス
http://www.nao.ac.jp/about/mtk/StarGazing/schedule.html			

1月8日(金) -2月5日(金)	10:00-16:30 (開館時間)	江戸の歌仙絵 絵本にみる王朝美の変容と創意	国文学研究資料館 1階展示室
	http://www.nijl.ac.jp/		
1月8日(金) -3月30日(火)		春のみんぱくフォーラム 2010 年—西アジア 再発見関連「木村次郷写真展「西アジア、 祈りの風景」	国立民族学博物館 エントランスホール 共催:財団法人 千里文化財 団
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/w-asia_renewal09_sp.html		
9日(土)	14:00-16:00	第313回歴博講演会「東海道の創造力」	国立歴史民俗博物館
9日(土)	9:00-12:30	宇宙学校・おおふなど	リアスホール 共催:JAXA、大船渡市
9日(土)	12:00-15:30	MMP ワークショップ「点字教室」	国立民族学博物館 1階エントランスホール(無料 ゾーン)
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/partners/event.html#tenji		
10日(日)	14:30-15:30	第144回みんぱくウィークエンド・サロン 研 究者と話そう「難民キャンプで見る長い夢: アフリカ難民の暮らしと文化」	国立民族学博物館 アフリカ展示場
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/w-asia_renewal09_sp.html		
11日 (月・祝日)	10:30-16:00	年末年始展示イベント「とら」関連ワークショ ップ「とらを追って世界一周!」	国立民族学博物館 1階エントランスホール及び常 設展示場
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/eto/ws_2010tora.html		
11日 (月・祝日)	11:00-11:30 /14:00-14:3 0	年末年始展示イベント「とら」関連イベントみ んぱく教員によるギャラリートーク	国立民族学博物館 常設展示場
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/eto/ws_2010tora.html		
11日 (月・祝日)	10:30- /11:00- /11:30- /13:00- /13:30- /14:10- /14:40- (各回 30分 程度)	年末年始展示イベント「とら」関連 MMP ワー クショップ「おりがみで遊ぼう! 干支シリーズ 『寅』」	国立民族学博物館 1階エントランスホール
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/eto/ws_2010tora.html		
15日(金)	18:40-20:40	第13回「研究者と実務者による国際協力勉 強会(JICA 大阪・民博・阪大 GLOCOL セミ ナー)	JICA 大阪 共催:国立民族学博物館
	http://www.minpaku.ac.jp/research/fr/jica_no13_20100115.pdf		

16日(土)	13:00-17:00	第74回歴博フォーラム「新春トラの巻」	ヤクルトホール 主催:国立歴史民俗博物館
16日(土)	13:30-15:00	第380回みんなくゼミナール 「対談 アレクサンドロスの道を撮る—写真家、大村次郷×山中由里子」	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar09.html#s377		
17日(日)	14:30-15:30	春のみんなくフォーラム 2010年—西アジア 再発見関連第145回みんなくウィークエンド・サロン 研究者と話そう「遊牧民・村人の絨毯と都市の絨毯—技法とデザイン」	国立民族学博物館 西アジア展示場
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/w-asia_renewal09_sp.html		
17日(日)	10:30-16:30	春のみんなくフォーラム 2010年—西アジア 再発見関連 MMP ワークショップ「じゅうたんをつくろう！」 (織機をつくろう!)	国立民族学博物館エントランスホール
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/ws_carpet100117.html		
19日(火)	18:30-19:45	国立情報学研究所 市民講座 「ゲノムと情報学—あなたの体質や生物の進化をゲノムから知る方法とは?—」	学術総合センター 2階中会議場 主催 国立情報学研究所
19日(火)	14:00-16:00	第230回 日文研フォーラム 「猿と一緒に踊り、鷹と共に空へ飛ぶ—バーチャル空間における文化遺産の再構築—」	ハートピア京都 主催 国際日本文化研究センター
	http://www.nichibun.ac.jp/event/forum.html		
19日(火) -3月27日(土) の火・木・土・日 曜日と祝日	11:00-12:00 /13:00-16:00	春のみんなくフォーラム 2010年—西アジア 再発見関連 MMP ワークショップ「じゅうたんをつくろう！」 (じゅうたんを織ろう!)	国立民族学博物館エントランスホール
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/ws_carpet100117.html		
23日(土)	13:30-15:30	第130回くらしの植物苑観察会 「出土資料からみたツバキ」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
23日(土)	時間未定 (午後)	宇宙学校・とくしま	徳島県立あすたむらんど子ども科学館 共催:JAXA、徳島県立あすたむらんど子ども科学館
23日(土)	18:30-19:30 (受付時間)	定例観望会	会場:国立天文台 三鷹キャンパス
	http://www.nao.ac.jp/about/mtk/StarGazing/schedule.html		

24日(日)まで		企画展示:縄文はいつから!? -1万5千年前になにがおこったのか-	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/events/now.html			
30日(土)	13:30-15:30	春のみんぱくフォーラム 2010年—西アジア 再発見関連みんぱく映画会 みんぱくワールドシネマ 映像に描かれる く包摂と自立>「オフサイド・ガールズ」	国立民族学博物館 講堂
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/movies1001.html			
31日(日)まで		くらしの植物苑特別企画 「冬の華・サザンカ」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑

2月

日程	時間	行事名	場所
2日(火)まで	10:00-17:00 (入館は 16:30 まで)	2009年度 年末年始展示イベント「とら」	国立民族学博物館常設展示場内
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/eto/2010tora.html			
6日(土)	13:30-19:30	研究フォーラム「日本の人類学における韓国研究—その歴史的現在」	国立民族学博物館 第4セミナー室
2月7日(日)/ 3月20日(土)/ 3月21日(日)		春のみんぱくフォーラム 2010年—西アジア 再発見関連イベント絵本読み聞かせ「絵本で旅する、詩の国イラン」	国立民族学博物館 2月7日:エントランスホール 3月20日・3月21日:西アジア展示場
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/w-asia_renewal09_sp.html			
9日(火)	10:00-16:00	マルコフ連鎖モンテカルロ法の基礎と実践 (2010年版)	統計数理研究所 (立川) 大会議室
http://www.ism.ac.jp/lectures/21p.html			
2月9日(火) -3月7日(日)		ミニ企画展示:和宮ゆかりの雛かざり	国立歴史民俗博物館
12日(金)	18:30-19:30 (受付時間)	定例観望会	会場:国立天文台 三鷹キャンパス
http://www.nao.ac.jp/about/mtk/StarGazing/schedule.html			
13日(土)	11:00-12:00	歴博探検「古墳のたからもの」	国立歴史民俗博物館
13日(土)	14:00-16:00	第314回歴博講演会 「正倉院文書を複製する」	国立歴史民俗博物館
14日(日)	14:30-15:30	春のみんぱくフォーラム 2010年—西アジア 再発見関連みんぱくウィークエンド・サロン 研究者と話そう「中東の音楽風土を探る」	国立民族学博物館 西アジア展示場
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/w-asia_renewal09_sp.html			

17日(水)	18:30-19:45	国立情報学研究所 市民講座 「膨大な文書の処理技術ーテキストの山を斬って見えてくるものは?ー」	学術総合センター 2階中会議場 主催 国立情報学研究所
	http://www.nii.ac.jp/index.php?action=pages_view_main&page_id=315		
20日(土)	13:30-15:00	第381回みんぱくゼミナール 「あたらしいアフリカ展示のメッセージ」	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar09.html		
27日(土)	13:30-15:30	第131回くらしの植物苑観察会 「造花にこめられた春の祈り」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
27日(土)	18:30-19:30 (受付時間)	定例観望会	会場:国立天文台 三鷹キャンパス
	http://www.nao.ac.jp/about/mtk/StarGazing/schedule.html		

3月

日程	時間	行事名	場所
6日(土)	13:00-17:00	国際シンポジウム「子どもたちにとっての未来社会ー北欧の思想と実践」	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/research/dp/20100306.html		
7日(日)	趣旨説明: 10:00-10:40 セッションⅠ: 10:20-12:30 セッションⅡ: 13:30-17:00	国際シンポジウム「広がる教育空間ー子どもたちのウェルビーイングから考えるー」	国立民族学博物館 第4セミナー室
	http://www.minpaku.ac.jp/research/dp/20100307.html		
12日(金)	18:30-19:30 (受付時間)	定例観望会	会場:国立天文台 三鷹キャンパス
	http://www.nao.ac.jp/about/mtk/StarGazing/schedule.html		
13日(土)	14:00-16:00	第315回歴博講演会「日本の家族の行方」	国立歴史民俗博物館
16日(火)	12:00	第6展示室「現代」オープン	国立歴史民俗博物館
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/regular/room_06.html		
20日(土)	13:30-15:00	第382回みんぱくゼミナール 「トンガの王様と民主主義」	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar09.html		

22 日 (月・祝日)	13:30-16:00	春のみんぱくフォーラム 2010 年—西アジア 再発見関連研究公演「アラブ・アンダルシア 宮廷音楽の馨り—<モロッコの花>アミナ・ アラウィの典雅な歌声」	国立民族学博物館 講堂
		http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/w-asia_renewal09_sp.html	
27 日(土)	13:30-15:30	第 132 回くらしの植物苑観察会 「村絵図を持って村を歩こう」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
27 日(土)	18:30-19:30 (受付時間)	定例観望会	会場:国立天文台 三鷹キャンパス
		http://www.nao.ac.jp/about/mtk/StarGazing/schedule.html	
28 日(日)	10:30-16:30	春のみんぱくフォーラム 2010 年—西アジア 再発見関連 MMP ワークショップ「じゅうたん をつくろう！」 (じゅうたんを仕上げよう！)	国立民族学博物館エントラン スホール &ピクニック先は当日発表
		http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/ws_carpet100117.html	

<教員の受賞情報等>

複合学研究科

極域科学専攻

- 藤井理行 教授、本山秀明 教授、渡邊興亜 名誉教授
日本気象学会堀内賞 受賞

情報学専攻

- Sven Wohlgenuth 特任研究員、越前功 准教授、曾根原登 教授
Gerd Griesser Award 受賞

- 小林哲郎 助教
映像情報メディア学会 映像情報メディアの未来ビジョン論文 特別賞 受賞

【編集後記】

あけましておめでとうございます。

本年もニューズレターをよろしく願いいたします。

総研大ニューズレター第 20 号をお届けします。

2010 年の新しい年の幕開けです。皆様は新たな年をどのような感慨を持って迎えられたでしょうか。今年は関東では晴天で寒さの厳しい新年でした。すっきりした冬の青空と寒さの中で新しい年が始まりました。

21 世紀も 10 年目を迎え、また平成も 22 年になり 20 世紀や昭和の時代がだんだん遠くなっていく感があります。年末年始の行事等も次第に簡素化され、スーパーなどは元旦から営業を始めるところもあり、新年も日常となりつつありますが、それでも新しい年は何か夢や希望を感じさせます。

いろいろなことがますます厳しくなっていきますが、今年が皆様にとって、また本学においても夢や希望がかなう年になるよう願っております。

[総務課]

◎各専攻で教員や学生がメディアに出演が決まっている場合や、発表や表彰等があった際にはご連絡ください。またメディア等に出演される場合は、可能な限り「総合研究大学院大学」と表記していただけますようご協力をお願いします。

発行 2010 年 1 月 13 日

編集



国立大学法人

総合研究大学院大学

THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES

広報委員会

神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

総務課広報係（担当）

TEL 046-858-1590/FAX 046-858-1542

E-mail: kouhou@ml.soken.ac.jp

©2009 SOKENDAI